

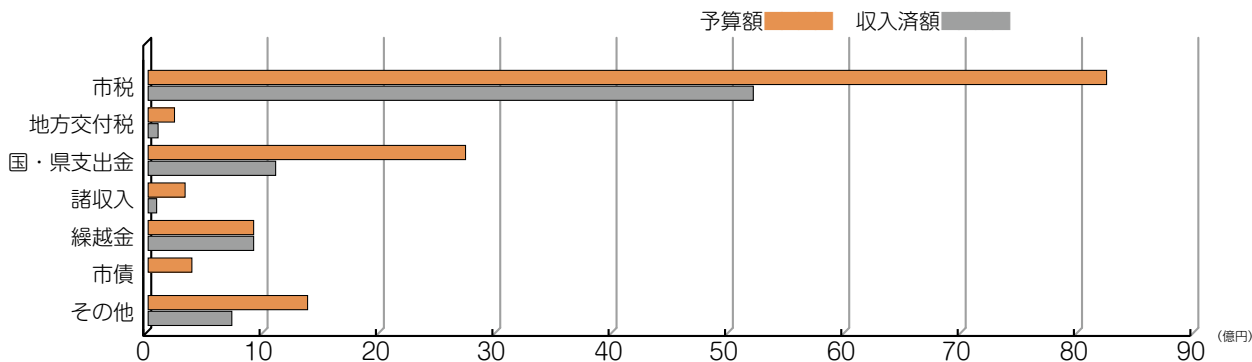
たかはまの財政

市では、毎年2回財政状況をお知らせしています。これは、皆さんが納めた税金や国・県からの補助金などの大切なお金が、どのように使われているかを知っていただくためのものです。

今回は、平成26年度上半期の一般会計・特別会計・企業会計それぞれの予算執行状況(平成26年9月30日現在。金額はすべて万円未満四捨五入)をお知らせします。

■平成26年度上半期一般会計予算の執行状況

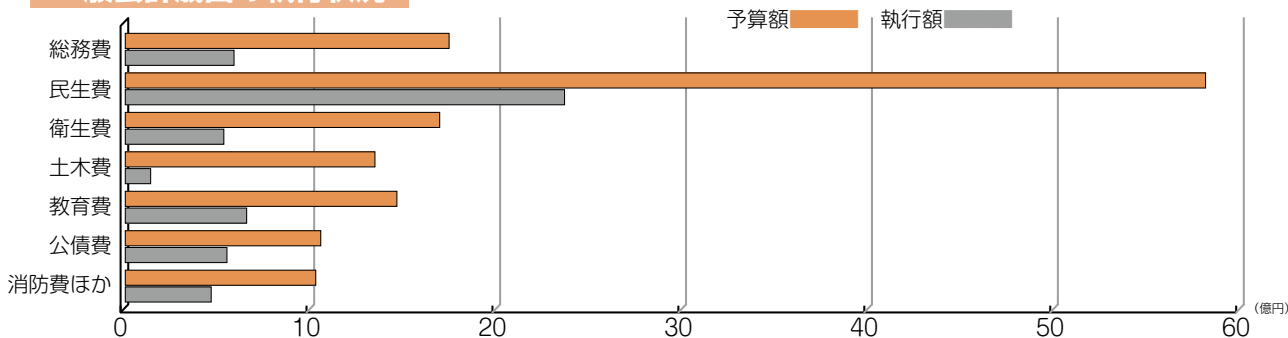
一般会計歳入の収入状況



●市税(収入済額)の内訳

区分	収入済額
市民税	18億9,108万円
固定資産税	25億7,432万円
軽自動車税	7,802万円
市たばこ税	1億4,599万円
都市計画税	5億1,223万円
合計	52億1,644万円

一般会計歳出の執行状況



歳出	予算額	執行額	執行率	構成割合	主な事業
総務費	17億8,385万円	5億8,497万円	32.8%	11.1%	市民予算枠事業など
民生費	58億1,027万円	23億6,254万円	40.7%	44.8%	保育園管理運営事業など
衛生費	16億9,110万円	5億3,010万円	31.3%	10.0%	ごみ減量リサイクル推進事業など
土木費	13億4,281万円	1億3,647万円	10.2%	2.6%	市道新設改良事業など
教育費	14億6,092万円	6億5,288万円	44.7%	12.4%	小・中学校維持管理事業など
公債費	10億5,138万円	5億4,687万円	52.0%	10.4%	借入金元金・利子償還事業
消防費ほか	10億2,447万円	4億6,222万円	45.1%	8.7%	広域消防事業など
合計	141億6,480万円	52億7,605万円	37.2%	100.0%	

■平成26年度上半期特別会計・企業会計予算の執行状況

市の会計には、一般会計のほか、国民健康保険のように特定の人の相互扶助を目的とした事業や下水道事業など特定の収入を特定の支出に充て運営する特別会計と民間の会社のように、その事業の収入で支出をまかなう「独立採算」の企業会計があります。

企業会計の状況

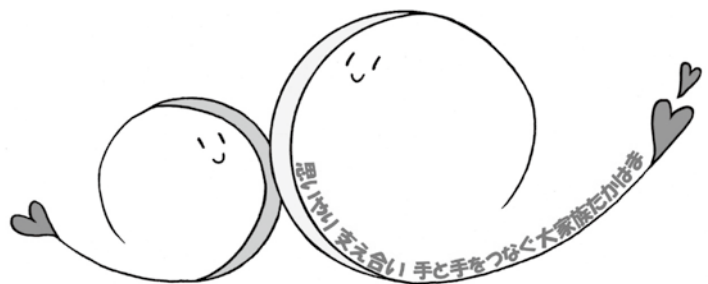
区分	予算額	収入・執行額	収入・執行率
収益	収入	8億4,377万円	4億1,053万円 48.7%
	支出	6億9,500万円	2億6,470万円 38.1%
資本	収入	7,956万円	3,314万円 41.7%
	支出	3億6,699万円	4,770万円 13.0%

特別会計の状況

区分	予算額	収入済額	収入率	執行額	執行率
国民健康保険事業	35億3,746万円	14億2,367万円	40.2%	14億5,119万円	41.0%
土地取得費	4,925万円	7,184万円	145.9%	2,977万円	60.4%
公共下水道事業	14億9,396万円	1億4,731万円	9.9%	5億4,718万円	36.6%
公共駐車場事業	3,453万円	6,471万円	187.4%	674万円	19.5%
介護保険	24億6,572万円	10億9,142万円	44.3%	9億5,237万円	38.6%
後期高齢者医療	4億6,296万円	1億3,693万円	29.6%	7,275万円	15.7%

■市有財産の状況

土地	488,699㎡
建物	123,677㎡
有価証券	7,587万円
出資	4,208万円
債権	7億2,890万円



わかりやすい財政のはなし【市債（借金）】

どうして借金してまで事業をするの？
借金せず一括で払った方が利子がつかなくていいんじゃないの？

市債、つまり借金には、「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」と「毎年の財源を平均する役割」があるんです。



公共施設などの整備には多くのお金が必要になるので、一度に払ってしまうとその年の他の事業ができなくなってしまいます。

また、公共施設は現在の市民だけでなく、将来の市民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、市債（借金）を活用して平等に費用の負担をお願いしています。

問合せ先 財務グループ ☎ 52-1111 (内線 306)